

わかりやすく、楽しく伝える県広報誌

美ら島沖縄

ちゅらしまおきなわ



伊計島

おきなわの彩

[伊計島 星空]

特集

いよいよ開催！
FIBAバスケットボール
ワールドカップ2023

企画

〈進め！うちなー調査隊〉
スポーツコンベンションで、
沖縄が豊かになるってホント？

読者
プレゼント

抽選で10名様に！

詳細はP15をCHECK



脱炭素社会が実現し、気候変動に適應した持続可能な「美ら島沖縄」を目指して

1 気候変動問題の危機感を県全体で共有する

近年の気候変動によって、沖縄地方の平均気温は100年あたり1.71℃の割合で上昇しており、今後、自然災害の増加や生態系の変化などさまざまな影響が予測されています。

そのため、県では2021年3月に気候変動問題への現状認識と将来への危機感を県全体で共有し、県民一丸となって取り組んでいくため、「沖縄県気候非常事態宣言」を行いました。

気候変動の影響

自然災害

- 台風の強大化
- 集中豪雨の増加 など

自然生態系の変化

- 高水温によるサンゴの白化
- 植物の開花時期の変化 など

住民の健康への脅威

- 熱帯地域の感染症媒介蚊の定着
- 熱中症リスクの増加 など



沖縄県気候非常事態宣言のポイント

- 1 県民・事業者・行政など県全体が連携して緩和策・適応策に取り組みます。
- 2 2050年度に向けて温室効果ガス排出量を実質ゼロにします。
- 3 美ら島沖縄を次の世代に引き継ぎます。



2 気候変動対策を推進する

宣言した取組を推進するため、第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画において、2050年度の目標「温室効果ガス排出量実質ゼロ（脱炭素社会の実現）」とその達成に向けた2030年度の目標を定め、「緩和策」（温室効果ガス排出削減対策）と、「適応策」（気候変動の影響による被害の防止・軽減対策）に取り組んでいます。

2030年度温室効果ガス排出量の削減目標

意欲的目標…2013年度比26%削減
挑戦的目標…2013年度比31%削減

〔緩和策の例〕

- 県公用車の電動車（EV・PHV）転換事業
- EVバス・充電設備の導入補助事業

〔適応策の例〕

- 気候変動と適応策に係る普及啓発
- 高水温下のサンゴの保全・再生に向けた調査研究



公用車として導入した電動車



県環境再生課
ホームページ

3 クリーンエネルギーを導入する

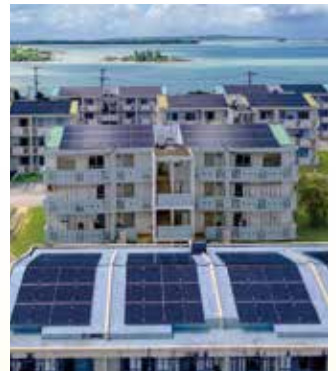
また、県のエネルギー計画である「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」では、2050年度の「エネルギーの脱炭素化」に向けて、2030年度の再生可能エネルギー電源比率などの目標を定め、太陽光や風力、バイオマス、水素など多様なクリーンエネルギーの導入に取り組んでいます。

2030年度再生可能エネルギー電源比率の目標

意欲的目標…18% 挑戦的目標…26%

〔取組例〕

- 離島の需給調整が可能な太陽光発電第三者所有モデル事業への補助事業
- 離島での水素利活用に向けた可能性調査事業



太陽光発電に係るモデル事業

4 美ら島を次の世代に引き継ぐために

気候変動対策は、行政・事業者・県民それぞれが自分事としてとらえ、行動することが重要です。

例えば、LED照明や省エネ家電の選択、マイバックやマイボトルの利用による使い捨てプラスチックの削減（緩和策）、防災対策や熱中症対策の強化（適応策）など、暮らしの中で身近にできることから取り組み、その広がりが脱炭素社会及び気候変動に適應できる社会の実現につながります。

一人一人が自ら何ができるかを考え、みんなで取り組んでいきましょう。

問い合わせ

環境再生課 電話：098-866-2064 FAX：098-866-2497



今日の暑さ
指数を確認
してみよう！

6/1-4 照屋副知事が韓国を訪問

照屋副知事は韓国を訪問し、第18回済州フォーラムでの基調講演、済州特別自治道知事との面談、済州国際平和センター、済州4・3平和公園などの視察を行いました。

照屋副知事は、フォーラムの基調講演で「平和の礎」や「沖縄平和賞」など、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外へ発信する取組、観光・経済や国際交流などの取組を紹介したほか、県が地域外交に取り組む考えについて述べました。



フォーラムで基調講演をする照屋副知事



オ・ヨンファン済州特別自治道知事との面談

6/12 初優勝おめでとう！ 琉球ゴールデンキングス優勝報告会

琉球ゴールデンキングス B.LEAGUE 2022-2023シーズン優勝報告会を開催しました。

沖縄バスケットボール株式会社の白木 享代表取締役社長、安永 淳一ゼネラルマネージャーと、選手を代表して岸本 隆一選手が出席し、多くの県民も参加しました。

報告を受けた玉城知事は、琉球ゴールデンキングスへ、県民に感動と喜びをもたらした子どもたちに夢と希望を与えたことに対して、感謝状と記念品を贈呈し、城岳小学校のミニバスケットボールチームを代表して森田 絢音さん(6年)があいさつし、花束を贈呈しました。



城岳小学校の子どもたちとの記念撮影

6/13-14 玉城知事が 多良間村を行政視察

玉城知事は、多良間村を訪れ行政視察を行いました。行政視察は、地域の状況を知事自ら把握し、現場に根ざした政策の推進に寄与することを目的として実施しています。



台風による葉たばこの被害状況を視察



多良間小学校6年生との交流

多良間村の伊良 皆光夫村長らとの意見交換をはじめ、村の基幹産業である葉たばこの台風による被害状況、村の要望に係る土地改良地区(種子川地区)や畜産施設などの視察を行ったほか、多良間村小学校の6年生11名との交流を行いました。

6/23 令和5年 沖縄全戦没者追悼式

県では、沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う「沖縄のこころ」を発信するため、糸満市摩文仁の平和祈念公園において「令和5年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。

式典には、来賓の岸田内閣総理大臣、細田衆議院議長、尾辻参議院議長のほか、4年ぶりに一般参列者もお迎えし、約4,000人が参列しました。



※詳しくは、9ページ「県の動き1」をご覧ください

平和宣言の全文▶

玉城知事による平和宣言



8/2023 August 美ら島沖縄

【ちゅらしま おきなわ】 vol.575

- 02 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画／実施計画
脱炭素社会が実現し、気候変動に適應した持続可能な「美ら島沖縄」を目指して
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：いよいよ開催！FIBAバスケットボールワールドカップ2023
- 06 進め！うちなー調査隊
スポーツコンベンションで、沖縄が豊かになるってホント？
- 08 「琉球料理が味わえる店」認証制度の受付を開始しました！
- 09 県の動き1 令和5年 沖縄全戦没者追悼式
県の動き2 新しい観光体験型モニターツアー「島まる」参加者募集中
- 10 市町村ワードパズル [渡名喜村]
- 11 県の動き3 「IT」を知って、触れて、体験しよう！
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4 夏本番!!食中毒にご用心～8月は「食品(食肉)衛生月間」です～
- 15 読者プレゼント・広報課から8月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き
2023年6月1日現在

146万7,009人
総人口 ※前月比941人増加

63万8,469世帯
世帯数 ※前月比1,271世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE

@okinawa-government

沖縄県庁広報課
公式ツイッター

@okinawa_pref

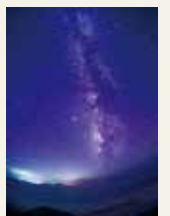
今月の表紙

おきなわの彩

「伊計島 星空」

撮影：はてるま こう

沖縄の原風景が残る伊計島では、日が落ちると夜空には満天の星。遙か彼方から届く美しい瞬きに心奪われます。



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

【美ら島沖縄の設置場所】

美ら島沖縄

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。

いよいよ
開催!

FIBAバスケットボール ワールドカップ2023

いよいよFIBAバスケット
ボールワールドカップ2023
が開催されます

8月25日から、沖縄市の沖縄アリーナで、世界最高のバスケットボールの大会「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」が開催されます。出場チームは、各地区予選を勝ち抜いた全32チームが出場。今回は、史上初の3か国での開催で、フィリピン、インドネシア、日本はここ沖縄で開催されます。

沖縄には「グループE」のオーストラリア（FIBA世界ランキング3位）、ドイツ（11位）、フィンランド（24位）、日本（36位）、「グループF」のスロベニア（7位）、ベネズエラ（17位）、ジョージア（32位）、カーボベルデ共和国（64位）の8か国が出場します。



大会スケジュール（沖縄会場）

	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31-9/3
第1試合	フィンランド 対 オーストラリア	カーボベルデ 対 ジョージア	オーストラリア 対 ドイツ	ベネズエラ 対 カーボベルデ	ドイツ 対 フィンランド	ジョージア 対 ベネズエラ	2次 ラウンド & 順位 決定戦
TIPOFF	17:00	17:00	17:30	17:00	16:30	17:00	
第2試合	ドイツ 対 日本	スロベニア 対 ベネズエラ	日本 対 フィンランド	ジョージア 対 スロベニア	オーストラリア 対 日本	スロベニア 対 カーボベルデ	2次 ラウンド & 順位 決定戦
TIPOFF	21:10	20:30	21:10	20:30	20:10	20:30	



OKINAWA2023
日本代表応援サイト



OKINAWA2023日本代表応援サイトでは、大会情報や、日本代表OKINAWA2023日本代表応援サイト、沖縄観光情報などを掲載しています。

情報発信サイトの紹介

FIBA公式ファンゾーン・サテライト会場について

大会開催期間中、試合会場の沖縄アリーナ以外の場所でも、県民や観光客がワールドカップを体験できる第2の大会会場としてファンゾーンを無料で開放いたします。

各会場では、大型ビジョンによるパブリックビューイングを開催し、試合会場である沖縄アリーナさながらの臨場感の中で、おいしい食事・飲み物とともに、日本代表や来県する各国の代表選手を応援することができます。

また、ステージイベントやスポーツアクティビティブースも設置しますので、お子さまにも楽しんでいただける内容となっております。

家族や友人などを誘って、各会場へお越しいただき、一緒にバスケットボールワールドカップを盛り上げましょう！



熱中症は予防が大切! こえかけで防ごう!



今日の暑さ
指数を確認
してみよう!

開催地 支援協議会 とは

運営主体である日本バスケットボール協会及び日本組織委員会を支援するため、県や沖縄市、那覇市、宜野湾市、北谷町、関係団体で構成される開催地支援協議会を設立しています。「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」開催をきっかけに沖縄の子どもたちがトップアスリートと関わる機会を設けたり、関連イベントを開催するなど、大会を盛り上げる取組を行っています。



取組 1 沖縄の子どもたちと世界との交流機会の創出

子どもたちが世界と交流する場を設け、国際的な感覚を養うとともに、さまざまな分野での世界へはばたく機会を創出します。

具体的な取組

- ◆ 県内の小中学生を中心に約1万人を試合に招待
- ◆ オンライン授業で共同開催国との交流を実施



共同開催国との交流

取組 2 沖縄の子どもたちとトップアスリートとの交流機会の創出

トップアスリートとの交流により、スポーツへの興味や、未来のトップアスリートを目指すきっかけづくりを創出します。

具体的な取組

- ◆ トップアスリートによるバスケットボールクリニックや講話などの実施



トップアスリートとの交流

取組 3 大会開催に向けた沖縄県内外でのイベント開催

県内外へのイベントでのブース出展を行い、沖縄でのワールドカップ開催の周知を図っています。

具体的な取組

- ◆ 県内外イベントでのブース出展
- ◆ メディア・機内誌などでの情報掲載を活用した大会周知と沖縄の魅力発信



イベントの様子

取組 4 大会を盛り上げるシティドレッシング

建物や公共交通機関を活用したシティドレッシングによって大会を盛り上げています。

具体的な取組

- ◆ 建物や公共交通機関へのラッピング広告の掲載



ゆいレールラッピング車両



タイムスビル前

【読者の皆様への注意】
沖縄アリーナへの来場方法について

試合会場の沖縄アリーナを含むコザ運動公園内には、お客さま用の駐車場はご用意できませんので、公共交通機関のほか、無料シャトルバスをご利用ください。

2023年沖縄大会 1年前イベント
2019年中国大会 ファンゾーン



©FIBA

■開催期間
令和5年8月25日(金)～
9月3日(日)

※宜野湾市は8月25日(金)～
27日(日)の3日間開催予定

■時間
毎日15時30分オープン、
第2試合終了30分後頃まで
(予定)

※18歳未満の方は、夜10時以降の入場は保護者同伴であってもお断りいたします。

■会場
「FIBA公式ファンゾーン」
那覇市(奥武山公園)
「サテライト会場」
沖縄市(こどもの国)
宜野湾市(トロピカルビーチ)
北谷町(サンセットビーチ)

問い合わせ FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催支援室(スポーツ振興課内) 電話: 098-917-2864



今日の暑さ
指数を確認
してみよう!

進め!

うちなー調査隊

県内の気になるコト・モノを知れば
沖縄がもっと面白くなる!

まずはココ! 合宿や大会開催に向けた 問い合わせ対応窓口



(写真提供:スポーツコミッション沖縄)

スポーツコンベンションで、 沖縄が豊かになるってホント?

スポーツのキャンプや大会などを指すスポーツコンベンション。

次世代の育成や地域活性化、さらには経済的効果も期待されており、国内外からたくさんの方々のチームを誘致しようとするさまざまな活動が行われています。



沖縄観光業界の 課題解決にも貢献

例年、沖縄ではプロ野球やサッカーのリーグなど、多くのスポーツチームがキャンプを行います。年中温暖な気候はアスリートにとって魅力的。また、8月25日からは、フィリピン、インドネシアと共同でFIBAバスケットボールワールドカップ2023が開催されます。本大会を機に、今後も大規模な国際大会の誘致が期待できそうです。

スポーツコンベンションは沖縄の観光にとって重要です。県内における経済効果は、2022年のプロ野球春季キャンプで43億4700万円^{※1}、2023年の沖縄サッカーキャンプでは約20億7736万円^{※2}とされています。県が発表した、コロナ禍前の2019年度版

「スポーツコンベンション開催実績一覧」によると、合宿や自主トレーニングは2月に最も多く開催され、1〜3月の3か月間で76.4%を占めました。1〜2月は沖縄への観光客数が少ない「閑散期」とされています。宿泊業や飲食業を中心に経済効果を生むだけでなく、沖縄観光にとって課題だった「閑散期と繁忙期の平準化」への寄与が期待できます。

行政と民間が 一体となった取組で 誘致を実現

アスリートから選ばれるキャンプ地となるためには、行政と民間の連携した取組が欠かせません。沖縄県スポーツ協会に事務局を置くスポーツコミッション沖縄では、団体、個人からの問い合わせや要望に合わせて、

宿泊施設や練習会場などの情報提供を行っています。また、市町村でも協議会を設置し、地域住民と協働でキャンプ誘致に取り組む自治体もあります。

練習環境もさまざまな場所で改善が進んでいます。例えば、県が実施した「芝人(しばんちゅ)養成事業」によって、芝生を管理する職人が養成されて競技場の芝環境が整い、沖縄でキャンプを行うサッカーチームが増えました。また、トップアスリートも使用するトレーニング機器をそろえた公営施設も増え、アスリートが理想とする練習環境の整備が進んでいます。

誘致活動や環境整備、受入体制が整うことで理想のスポーツコンベンションが実現します。経済だけでなく、地域活性化や県民の競技力向上にもつながる取組に、今後もますます目が離せません。

※1 (株)りゅうぎん総合研究所「沖縄県内における2022年プロ野球春季キャンプの経済効果」より

※2 (一財)南西地域産業活性化センター「沖縄サッカーキャンプ2023の市町村別|みた経済波及効果」より



コロナ後の変化は？

新型コロナウイルスの影響で減った問い合わせも、5類感染症に移行した現在では、過去最高ペースに迫る勢いのように、ますます盛り上がっていきそうだね。



キャンプ・大会開催までの流れ



CASE 1



[団体]

スポーツコミッション沖縄
<https://www.sports-commission.okinawa/>

ホームページ



アスリートと沖縄をつなぐ コーディネーター

沖縄県スポーツ協会に事務局を置き、県、沖縄観光コンベンションビューローと連携。団体や個人からの問い合わせを受けて宿泊施設、競技場情報などを提供し、円滑にキャンプやイベントができるようサポートする。プロモーション活動のほか、受入市町村と歓迎セレモニーも実施。プロ野球やJリーグに続けと、自治体や競技団体と連携してラグビーチームの合宿誘致に取り組んでいる。

県民一体となって、キャンプ誘致を実現!

CASE 3



[自治体]

沖縄市
<https://okicitysc.jp/>

沖縄市スポーツコミッション
ホームページ



スポーツの街として
受入実績は県内一!

スポーツを通したまちづくりで、地域活性化

スポーツ交流のまちづくりを目的に「スポーツコンベンションシティ」を宣言した沖縄市は、県内41市町村の中で、最も多くスポーツコンベンションの誘致に成功している。市内に陸上競技場やトレーニング施設などを備えた大型の運動公園が2か所あり、2022年度には119団体が市内でスポーツ合宿を実施した。野球や陸上、バレーボールなどさまざまな競技団体が訪れていて、スポーツ教室の実施や応援イベントを開催し、地域活性化に取り組んでいる。

CASE 2



[施設管理]

東洋グリーン株式会社
<https://www.toyo-green.com/>

ホームページ



練習環境の改善で
受入数が2倍に

競技場の芝生環境を整備し、人材育成にも貢献

サッカーやラグビーなどスポーツを行う競技場の芝生を「スポーツターフ」といい、選手を守り、プレーの質を高めるために重要な要素のひとつとされている。東洋グリーン株式会社は、野球場も含め県内11か所の競技場を管理する芝のスペシャリスト。2012年度から県が5年間行った「芝人養成事業」では研修者を育成。その成果もあり、サッカーキャンプ受入数は2011年度の12チームから、2022年度には24チームまで増えた。

進め! うちなー調査隊 まとめ

スポーツコンベンションを推進することで
沖縄の経済が豊かになる!



- ✓ 観光客が減るオフシーズンのキャンプ実施により沖縄観光の課題解決が期待できる。
- ✓ プロモーション活動、環境整備、受入体制構築の3つの要素がそろうことでスポーツコンベンションを誘致できる。

熱中症は予防が大切! こえかけで防ごう!



「琉球料理が味わえる店」認証制度の 受付を開始しました！

近年、食生活の欧米化などを背景として、ライフスタイルや価値観の多様化などに伴い、私たち県民の食を取り巻く環境は大きく変化しています。

また、行事食の衰退や若い世代を中心とした伝統料理離れが進み、伝統的な食文化が失われつつあります。

琉球料理を基盤とする「沖縄の伝統的な食文化」

について、県民や観光客への普及・提供を推進するとともに、その魅力や価値・効用を分かりやすく情報発信することなどを目的に「琉球料理が味わえる店」認証制度を今年度からスタートしました。

現在、登録店舗の申請を受け付けていますので、興味のある飲食業事業者の方は、文化振興課食文化関連ホームページをご覧ください。

ホームページ

沖縄県文化観光スポーツ部
文化振興課
食文化関連ホームページ





「琉球料理が味わえる店」認証制度運営事務局
(JTB沖縄内) 担当：新垣、天願、小金井

ホームページ



認証制度の申込みに関する問い合わせ

「琉球料理が味わえる店」認証制度運営事務局
(JTB沖縄内) 担当：新垣、天願、小金井

電話：098-860-7704

「沖縄の伝統的な食文化」とは

琉球料理という沖縄独自の料理文化に基盤をおき、食材や調理法、風俗習慣などのさまざまな要素を包含した生活文化です。

その底流には、自然や気候風土の尊重、家族・親族や地域とのつながりを大切にする精神、日中両国はじめ各国との交流による影響などがあります。



問い合わせ 文化振興課 電話：098-866-2768 FAX：098-866-2122

広告